

開会挨拶 松田純（静岡大学大学院人文社会科学研究科特任教授）

主旨説明 堂園俊彦（静岡大学人文社会科学部准教授）

提題

坂元真由美（園田学園女子大学人間健康学部教授）

「認知症の人と社会をつなげる」

三浦靖彦（東京慈恵会医科大学附属柏病院総合診療部部長）

「認知症の人に対する意思決定支援」

坂井明弘（株式会社Sakai & Sons取締役）

「認知症の人のスピリチュアルペイン」

コメント

認知症当事者の方

総合討論

司会進行 堂園俊彦（静岡大学人文社会科学部准教授）

天野ゆかり（静岡県立大学短期大学部助教）

閉会挨拶 宮下修一（中央大学大学院法務研究科教授）

その人らしく生きられる

公開シンポジウム

社会へ向けて

現在日本では、新オレンジプランのもと、認知症とともに生きる人を中心とした、切れ目ないケアの体制づくりが進められています。それでは、新オレンジプランが示されてから三年が経とうとしている現在、認知症の人をとりまく状況はどのようなものであり、今後、どのような取り組みが必要とされるのでしょうか。このシンポジウムでは、こうした問題を、認知症の人のケアに携わってこられた方々、また、認知症当事者の方とともに、考えていきたいと思ひます。

とき 2017年10月14日（土） 14:00～17:00 ◆開場 13:30◆

ところ グランシップ 10階会議室（1001-1）
JR東静岡駅南口より徒歩3分 <http://www.granship.or.jp/parking/>

申込み 以下のURLよりお申し込み下さい。
定員（100名）に達し次第、締切とさせていただきます。
<https://goo.gl/d9H9Ti>

参加費 無料

主催 静岡大学

後援 生命・医療倫理研究会／静岡県／静岡市／静岡県医師会／静岡県看護協会／静岡県介護福祉士会／特定非営利活動法人ヒューマン・ケア支援機構

問合せ シンポジウム事務局 dementia.symposium@gmail.com

本シンポジウムは、第28回生命・医療倫理研究会を兼ねています。

本シンポジウムは、科学研究費補助金（基盤研究C）「認知症ケアを契機とした生命倫理学の刷新—新しいケア文化のかたちを求めて」（研究代表者 松田純）の一環として行われます。